



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

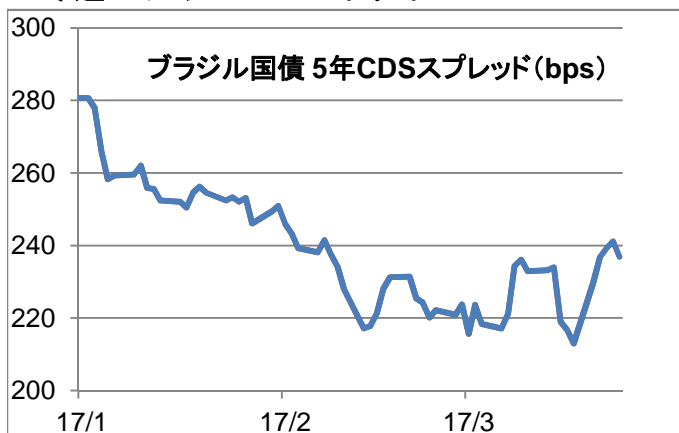
			3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0720	3.0880	3.0880	3.1410	3.1080	-0.0330
	BRL/JPY	Spot	36.64	36.18	36.00	35.33	35.81	+0.48
	EUR/USD	Spot	1.0738	1.0810	1.0796	1.0783	1.0798	+0.0015
	USD/JPY	Spot	112.55	111.72	111.18	110.96	111.34	+0.38
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	10.56	10.53	10.47	10.45	10.34	-0.1149
	Future	1Year(p.a.)	9.79	9.74	9.74	9.76	9.67	-0.0886
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.098	2.054	2.054	1.982	1.971	-0.011
	USD	1Year(p.a.)	2.258	2.175	2.175	2.100	2.147	+0.047
株式	Bovespa指数		64,884.27	62,980.37	63,521.34	63,530.79	63,853.77	+322.98
CDS	CDS Brazil 5y		229.71	236.84	236.84	241.42	236.85	-4.57
商品	CRB指数		184.781	184.288	183.854	183.643	183.47	-0.178

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは約1ヶ月ぶりの水準となる3.06台まで上昇するも週後半に下落。
- 週初のレアルは3.0940で寄り付いた。食肉不正問題への反応は限られ、週初は順調な資金流入に支えられて2月下旬以来となる3.0610まで上昇した。その後、21日にテメル大統領が年金改革案について州と市の公務員を対象外とすることを発表。また23日には労働改革の1つである下請け可能な業務を拡大するための法案が下院で可決されたものの賛成と反対の票差が予想よりも少なく、今後審議が本格化する年金改革が難航するとの懸念からレアルは下落した。また、政府が予定していた本年度の財政目標達成に向けた方針発表を延期したことも、財政への懸念からレアル売りの材料となった。一時3.1500まで売られたが、週末にかけて買い戻しが進み結局3.1080で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.48%で据え置き、2018年は2.40%から2.50%へ上方修正された。インフレ率予想は2017年が4.19%から4.15%へ下方修正されたが、2018年は4.50%で据え置き。為替レートは2017年末が3.30から3.29と小幅ながらレアル高方向へ修正されたが、2018年末は3.40で据え置かれた。
- 先週17日に21社の伯食肉関連企業と農務省検査官の癒着が摘発されたことを受け、EUや中国など主要輸入国によるブラジル産食肉の輸入停止・規制が相次いだ。食用肉が2016年の輸出に占める比率は約7.5%である一方、捜査の対象は21社と国内の食肉生産業者の0.4%程度であり、影響は限定的との見方もある。
- 22日に発表された3月の伯インフレ率(IPCA-15)は前年比4.73%と7ヶ月連続で伸び率が低下した。予想通りの内容だったため市場の反応は限られた。24日時点で金利先物市場では4月COPOMIについて約1.03%の利下げを織り込んでいる。
- 伯中銀は先週16日に再開したドル売りポジションのロールオーバーを今週も継続。先週に続いて1日あたり5億ドル相当の規模で実施された。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

年金制度改革への懸念が強まる

今週はブラジルの年金制度改革の進展を巡る懸念が強まった。テメル大統領は同改革への反対圧力を抑制するため州と市の公務員を対象から外すことを決めたが、支出削減効果の減少や地方自治体の財政改革が遅れる可能性が指摘されている。また今週は労働改革の1つである下請け法案が下院で可決されたが、賛成231に対して反対188と43票差だった。年金改革法案は憲法改正を要するため上下両院における各々2回の採決で6割の賛成が必要とされ、下院では308票が必要。年金改革への懸念や食肉不正問題を受け、先週ムーディーズによるブラジル国債の格付け見直し変更で低下していたCDSスプレッドは拡大に転じた。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05－3.20

来週のレアルは軟調な推移を予想する。年金改革への懸念や食肉不正問題に加えて伯中銀による月末のドル買戻しもレアルの上値を重くすると見込む。伯中銀はドル売りポジションのロールオーバーを1日あたり5億ドルのペースで継続中。このペースが続けば月末には同ポジションの期日到来に伴って42.1億ドルのドル買戻しが発生する見込み。同様に45.5億ドル相当が期日を迎えた2月末はレアルが3.07台から3.11台へと下落している。また、政府は今週延期した2017年度の財政目標達成に向けた方針の発表を予定しており、支出削減と増税の内容に注目したい。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経常収支	\$0m	-\$935m	-\$5085m
ブラジル	海外直接投資	\$5000m	\$5306m	\$11528m
米	耐久財受注(前月比)	1.4%	1.7%	2.0%
米	耐久財受注(除輸送用機器)	0.6%	0.4%	0.0%
米	製造業受注-資本財(非国防/除航空機)	0.5%	-0.1%	-0.1%
米	マークイット米国製造業PMI	54.8	53.4	54.2
米	マークイット米国サービス業PMI	54.0	52.9	53.8
米	マークイット米国コンポジットPMI	--	53.2	54.1

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	3/27	FGV消費者信頼感	Mar	--	81.8
ブラジル	3/27	税收	Feb	93000m	137392m
ブラジル	3/28	FGV建設コスト(前月比)	Mar	0.52%	0.53%
ブラジル	3/28	PPI 製造業(前月比)	Feb	--	0.28%
米	3/28	コンファレンスボード消費者信頼感	Mar	114.0	114.8
ブラジル	3/29	IBGEサービス部門売上高 前年比	Jan	-4.5%	-5.7%
ブラジル	3/29	ローン残高(前月比)	Feb	--	-1.0%
ブラジル	3/29	融資残高	Feb	--	3074b
ブラジル	3/30	FGVインフレーションIGPM(前年比)	Mar	4.89%	5.38%
ブラジル	3/30	経済活動(前月比)	Jan	-0.10%	-0.26%
ブラジル	3/30	小売売上高(前年比)	Jan	-4.4%	-4.9%
ブラジル	3/30	中央政府財政収支	Feb	-20.2b	19.0b
米	3/30	GDP(年率/前期比)/確定値	4Q	2.0%	1.9%
ブラジル	3/31	全国失業率	Feb	13.1%	12.6%
米	3/31	ミシガン大学消費者マインド	Mar	97.6	97.6

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。